

ふりがな 氏名	かとう よしじ 加藤 芳司	職名	講師
取得学位	博士(生体高次情報)	学会での受賞歴	特になし
主な担当科目	基礎運動療法学, 理学療法治療学特論 I, 基礎ゼミナール, 見学実習		
所属学会	日本理学療法士協会, 日本理学療法学会連合, 日本産業理学療法研究会(副理事長:令和3年6月より現在に至る), 日本体力医学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 理学療法科学学会, 日本産業衛生学会, 日本介護予防・健康づくり学会		

◆ 教育業績

事項	実施年月(日)	概要
国家試験対策授業および臨床実習前対策授業の企画、運営 (名古屋平成看護医療専門学校)	平成 29 年 4 月~令和 4 年 3 月	前所属先養成校にて、理学療法の各分野のスペシャリストを講師として招聘し、実習前向けおよび国家試験対策の特別授業の提案と講師依頼等の企画運営に携わった。
専門学校教育の中での客観的臨床能力試験 (OSCE) の積極的な企画、運営 (名古屋平成看護医療専門学校)	平成 29 年 4 月~令和 4 年 3 月	専門学校での本格的運用が少ない中、客観的臨床能力試験(OSCE)の重要性を認識し積極的に運用を進めてきた。毎年の分析結果、臨床実習前に問題が生じる可能性が高い学生を予測することが出来ている、実習脱落学生の抑制に貢献。
ゼミ学生を中心に、学外で健康増進、介護予防の取り組みを地域社会の中で実践、指導 (名古屋平成看護医療専門学校)	平成 29 年 4 月~令和 3 年 3 月	通所施設、特別養護老人ホームなどに出向き高齢者の運動指導の実際を学ぶ機会を作り、ゼミや卒業研究を始め積極的に取り組み指導した。
学生主導型 (アクティブラーニング) 授業の積極的導入 (名古屋平成看護医療専門学校)	平成 29 年 4 月~令和 4 年 3 月	学生参加型のグループワークを積極的に医療系科目に導入を試みてきた。前所属養成学校においては定期的な教員研修でアクティブラーニングの手法を学び、推し進めており、授業に集中しない学生減少に効果を出している。結果、授業における学生の発言力が高まり、能動型授業が展開できた。
指定規則改定にともなう臨床実習参加型実習に向けた指導者教育と実践 (社会医療法人宏潤会大同病院)	令和 2 年 4 月~ 令和 4 年 3 月	前所属先急性期病院における理学療法士および作業療法士の臨床実習の在り方について指導を行い、参加型実習の実践を開始。現場実習指導者の理解が深まり、学生の能力に合わせた参加型実習を実践している。
地域理学療法学を中心とする健康増進・介護予防領域における教材作成 (名古屋平成看護医療専門学校)	平成 29 年 4 月~令和 4 年 3 月	運動学実習および地域理学療法の実技演習科目向けに、30秒椅子立ち上がりテスト、timed up and go テストに代表される高齢者向けシニアフィットネステストの評価方法を動画も組み入れながら資料を作成し、学生の実技指導に活用。
地域理学療法学を中心とする健康増進・介護予防領域における教材作成 (名古屋平成看護医療専門学校)	平成 29 年 4 月~令和 4 年 3 月	早稲田大学特任教授鈴木正成らが提案した「玄米ダンベル体操」に用いるダンベルを鈴木氏が示す道具の基準を参考に、自家で数十セット作成した。それを用いて学生とともに地域に出向き、要介護高齢者に対する運動プログラムの実践を行った。その後、道具のメンテナンスを継続して、現在も運動指導で活用して好評を得ている。
客観的臨床技能試験 (OSCE) に用いる教材作成 (名古屋平成看護医療専門学校)	平成 29 年 4 月~令和 4 年 3 月	実習前臨床技能の客観的評価の必要性から、模擬患者の症例シナリオ、各評価ステーションで用いる評価用紙、試験全体の運営プログラムの策定を行い、試験運用を定形化する事に寄与した。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	理学療法管理学・政策学 <ISBN978-524-25209-1>	共	平成30年9月	南江堂	監修：植松光俊 編集：中川法一, 田中昌史 著者：村永信吾, 西潟央, 長倉裕二, 鈴木啓介, 黒澤和生, 小林巧, 村西壽祥, 畑中良太, 隅元庸夫, 金田嘉清, 櫻井宏明, 小山総市郎, 岩井信彦, 豊田輝, 中川法一, 永野忍, 大工谷新一, 岡山裕美, 加藤芳司, 松田智行 全170ページ中, 第6章 職域 の拡大 6-1.職域拡大とその背 景 D.ウィメンズヘルス, 産業理 学療法, 予防理学療法 (p126-129) を執筆
論文	Effects of a 12-week Marching in Place and Chair Rise Daily Exercise Intervention on ADL and Functional Mobility in Frail Older Adults. 虚弱高齢者 に対する12週間にわたる, 足踏 み運動と椅子立ち上がり軽運動 の介入によるADLと機能的体力 への効果について	共	平成30年 4月	The Journal of Physical Therapy Science 30(4)549-554	<u>Yoshiji Kato</u> , Daisuke Koizum, Michael E.Rogers, Nobuo Takeshima, Mohammad M. Islam p 1-6
論文	Development of Simple, Objective Chair-Standing Assessment of Physical Function in Older Individuals Using a Kinect™ Sensor キネクトセンサーを用いた椅子 からの立ち上がり動作による簡 易かつ客観的な高齢者の身体機 能評価法の開発	共	令和元年 6 月	The Journal of Frailty & Aging online 1-6	Nobuo Takeshima, Takeshi Kohama, Masanobu Kusunoki, Eiji Fujita, Souiti Okada, <u>Yoshiji Kato</u> , Keigo Kofuku, Mohammad M.Islam, W.F.Brechue open access p1-6
論文	Immediate Effect of Local Vibratory Stimulation on Proprioceptive Control Strategy: A Pilot Study. 固有感覚制御戦略における局所 的振動刺激の即時効果につい て:パイロット研究	共	令和3年2 月	Electronics 2021,10 (3),341	Yohei Ito, Keitaro Kawai, Yoshifumi Morita , Tadashi Ito, Kazunori Yamazaki, <u>Yoshiji Kato</u> , Yoshihito Sakai p 1-15
論文	Postural Sway in Older Patients with Sagittal Imbalance and Young Adults during Local Vibratory Proprioceptive Stimulation 局所振動による固有受容器刺激 におけるバランス能が不安定な 高齢患者と若年者の姿勢の揺れ について	共	令和3年2 月	Healthcare 2021,15,9(2):210	Tadashi Ito, Yoshihito Sakai, Kazunori Yamazaki Yohei Ito, Keitaro Kawai,_, <u>Yoshiji Kato</u> , Hideshi Sugiura, Yoshifumi Morita p 1-10
論文	高校生チアリーディング選手に おける膝関節外傷発生の内的要 因	共	令和3年5 月	日本アスレティックト レーニング学会誌 2021,7(1) 85-92	武田和之, 倉持梨恵子, 三津橋佳奈, 中山卓, 加藤洋一, 中嶋友哉, 萩尾美咲, <u>加藤芳司</u> p1-8

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	中学野球選手の側腹筋厚と肩甲骨周囲筋筋力との関係	共	令和3年6月	愛知県理学療法学会誌 33(1):22-27	武田和之, 加藤洋一, 中嶋友哉, 井部沙紀, 小澤武光, 前川真太郎, 萩尾光咲, 加藤芳司 p1-6
論 文	Association between static and dynamic balance ability in community-dwelling older female adults 地域在住高齢女性における静的バランスと動的バランスの関連	共	令和4年8月	Japanese Journal of Sports and Health Science 44,11-19	禿隆一, 北林由紀子, 今井あい子, 加藤芳司, 竹島伸生, 藤田英二, イスラム MM p1-9
学会発表	維持期高齢者における生活空間(Life Space)と機能的体力および転倒恐怖感との関係について(ポスター発表)	共	平成30年9月	第73回 日本体力医学大会 福井	加藤芳司, 萩尾光咲, 東欽太, 加藤 洋一, 前川真太郎, 武田和之 プログラム・予稿集 p213
学会発表	高校生女子チアリーディングにおける傷害発生部位に関する調査報告(口述発表)	共	平成30年9月	第73回 日本体力医学大会 福井	東欽太, 武田和之, 加藤洋一, 萩尾光咲, 三津橋佳奈, 中山卓, 三津橋佳奈, 加藤芳司 プログラム・予稿集 p152
学会発表	施設入所高齢者に対する椅子立ち上がり運動による転倒予防を目指した7年間の取り組みについて(口述発表)	単	平成31年3月	第28回 愛知県理学療法学会 愛知	加藤芳司 プログラム集・抄録集 p92
学会発表	地域在住中高齢者の生活空間(Life Space)と転倒恐怖感との関係について(ポスター発表)	共	令和元年9月	第74回 日本体力医学大会 茨城	加藤芳司, 大杉京子, 大野有三, 武田和之 プログラム・予稿集 p307
学会発表	通所施設における理学療法介入頻度の相違と体力・ADLとの関係について(口述発表)	共	令和元年10月	第6回 日本予防理学療法学会 学術大会 広島	溝崎友和, 北村葉子, 杉江美奈子, 角田利彦, 加藤芳司 プログラム集 p150
学会発表	競技チアリーディングにおける膝関節外傷発生-身体機能に着目して(ポスター発表)	共	令和元年11月	第30回日本臨床スポーツ医学会学術大会 横浜	武田和之, 倉持梨恵子, 加藤芳司, 三津橋佳奈, 中山卓, 加藤洋一, 萩尾美咲, 馬島雅高
学会発表	「2020 職場における腰痛予防宣言」の取り組み報告-看護助手を対象とした移乗動作指導とアンケート調査結果について(口述発表)	共	令和2年9月	第55回日本理学療法学会学術大会 web開催	加藤芳司, 前澤早紀, 松田夏実, 古田博之 抄録集 p45
学会発表	競技チアリーディングにおける足関節外傷・障害発生-身体機能に着目して(ポスター発表)	共	令和2年11月	第31回日本臨床スポーツ医学会学術大会 Web開催	武田和之, 倉持梨恵子, 三津橋佳奈, 中山卓, 加藤洋一, 井部沙記, 萩尾美咲, 馬島雅高, 加藤芳司 https://site2.convention.co.jp/31rinspo/program/program.pdf プログラム(pdf) p56
学会発表	高校生競技チアリーディング選手における外傷・障害発生と受傷メカニズム(ポスター発表)	共	令和2年12月	第9回日本アスレティックトレーニング学会学術大会 Web開催	武田和之, 倉持梨恵子, 三津橋佳奈, 中山卓, 加藤洋一, 中嶋友哉, 井部沙記, 馬島雅高, 加藤芳司 一般演題抄録集 p40

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	地方在住中高年者に対するフレイル予防目的でのホームエクササイズ指導による機能的体力と日常生活の活動意欲の変化についての報告 (口述発表)	共	令和3年10月	第76回日本体力医学大会 Web 開催	加藤芳司, 大杉京子, 大野有三 プログラム・抄録集 p261
学会発表	新人看護師を対象とした職業性腰痛予防の取り組み報告 (口述発表)	共	令和3年11月	第8回日本予防理学療法学会学術大会 Web 開催	加藤芳司, 森秀人, 古田博之 プログラム・抄録集 p94
学会発表	理学療法士を対象とした転倒災害に関するアンケート調査と好事例のヒアリング調査 (口述発表)	共	令和3年11月	第8回日本予防理学療法学会学術大会 Web 開催	岡原聡, 川又華代, 加藤芳司, 明日徹, 佐藤友則, 川村有季子, 山崎重人 プログラム・抄録集 p92
学会発表	愛知県における産業理学療法啓蒙活動の報告—連合研究会と県士会との連携に向けて (口述発表)	共	令和4年11月	第5回日本産業理学療法研究会学術大会 東京	加藤芳司, 古田博之 プログラム・抄録集 p132
その他 (学会基調講演)	基調講演 高齢障害者ケアで大切なこと (口述発表)	単	平成30年2月	第18回 愛知県知的障害関係施設職員等研究大会 豊橋	加藤芳司 抄録集なし 概要 第2分科会(テーマ「元気に老いる支え方」～支援・医療・栄養～)の基調講演にて, 理学療法士の地域での役割, 持ち合わせる技術, 知識の紹介, 障害者本人への理学療法士としての関わり方を紹介
その他 (学会自由集会)	自由集会 理学療法士が提案する就労前後, 自宅のできるトレーニングの紹介, 実演 (口述発表)	共	令和4年5月	第95回日本産業衛生学会 高知	明日徹, 加藤芳司, 川又華代 プログラム・抄録集 p292